

Mihonoseki 伝建だより



青石畳通り風鈴の彩り

Vol.6

2024.8

TOPIC

- ・第3回美保関まちなみ塾を開催!!
- ・美保関の伝統的建造物の特徴について
- ・お知らせ

※「Mihonoseki 伝建だより」…松江市では、美保関町美保関にて伝統的建造物群保存地区制度、通称「伝建」の導入を検討しています。制度の内容や市の取り組みについてお伝えします。

第3回 美保関まちなみ塾 ～美保関のまちなみと建物の特徴～ 開催!!



日時：令和6年7月21日（日）14:00～16:00

会場：美保関文化交流館

参加者数：58名

講師：大林潤氏（奈良文化財研究所 上席研究員）

主な内容：

○まちなみを知る

- ・伝統的建造物群保存地区とは…町がたどってきた歴史、古い建物や環境といったものが形としてよく残っている。
- ・古写真・古絵図との比較
江戸末期～明治後期までの絵図から読み解く
→ 美保関のまちなみの形は現在までほとんど変わっていない。
- ・「美保関絵図」（江戸末期）…佛谷寺から南に水路が通る。
この水路の形も今と変わらない。

○建物を知る

- ・美保関の町家建築…住宅型と船宿型に区別できる
共通の特徴としては通り土間、1列3部屋、正面に半間の縁
一方、2階の使い方に差があった

○祭礼と建物の関わり

- ・1階に神棚。頭人宮設置など祭礼のために家を改造したり、家の使い方を变える。

○他集落との比較

- ・美保関町美保関のみ町家。調査地区以外の周辺集落は漁村。

参加者アンケートの結果

- ・美保関の今昔が分かってとても面白かった。町家の違いがとても興味深かった。
- ・地元に住んでいるが、この度の企画に参加できて、また良きまちなみを再発見できてとてもよかった。
- ・美保関について知らないことが多く得るものばかりだった。普通に観光で訪れるのでは地域住民と話す機会はなかなかないと思うのでいい機会になった。
- ・住宅と神事が関連していることが分かり、暮らしの中に神様の存在が強く表れているまちでもあると思った。

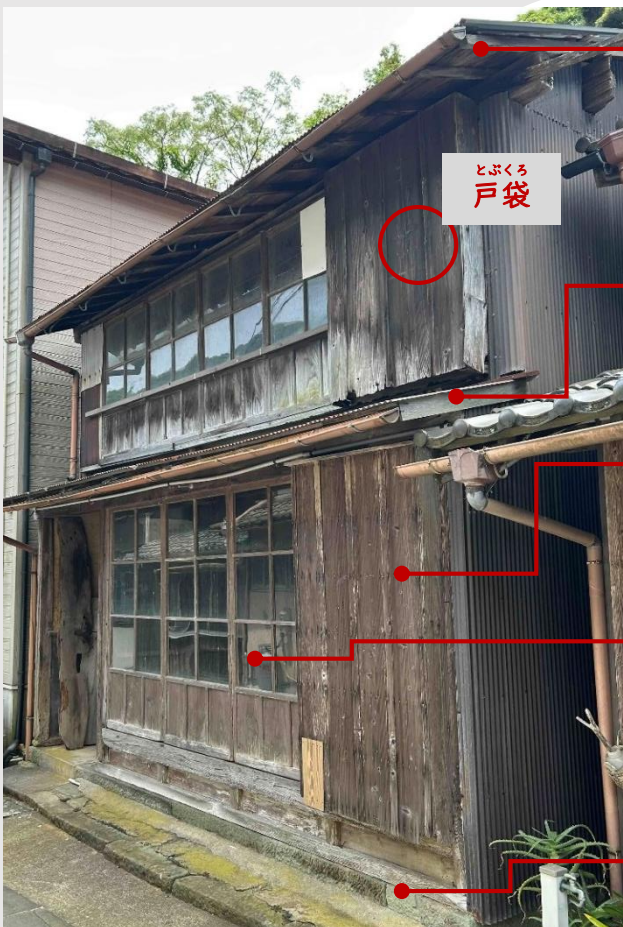
? おしえて まちなみ相談室

美保関の伝統的建造物の特徴について（町家の場合）

伝統的建造物群保存対策調査の結果、美保関の伝統的な建造物の特徴が明らかになりました。美保関の建造物は、町家、大型の旅館建築、社寺の3つに分類できます。美保関に最も多い町家の特徴を、例を挙げて紹介します。今後、建造物の修繕の際の基準は、こういった特徴をもとに作っていきます。

高さの特徴 → 2階建てが基本。 **色彩の特徴** → 塗装なし

構造の特徴 → 木造



屋根の特徴

- きりづまづくりひらいり
・切妻造平入※が基本。
- かわらぶき
・屋根寸法は3寸～4.5寸が多い(瓦葺では勾配が緩い)
- かわら
・瓦は黒瓦(いぶし瓦)が中心。
- いりも やづくり
・西小路では、入母屋造も建てられていた。

庇・下屋の特徴

- ひさし げや
・下屋を設けるものから、1階と2階の間に庇を設ける形式へと変化する。

外壁の特徴

- たていたかべ
・板を縦に貼った縦板壁が主流。
- しんかべ しっくい
・真壁 (漆喰の壁)とするものもある。

開口部・建具の特徴

- ・木製の建具でガラス戸もしくは障子戸。
- ・外側に雨戸と戸袋を設ける事例がある。
- ・建具部分は、1階居室部は、掃き出し引き違い。2階は、低い腰高窓で、引き違いもしくは一本引き戸。

基礎の特徴

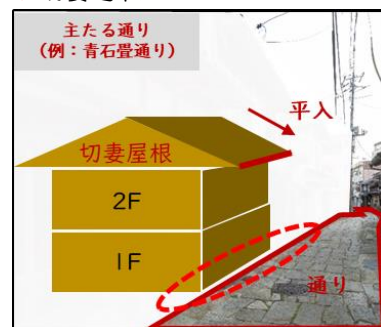
- ・石でできている



軒・腕木の特徴

- のき うてぎ
・軒裏は垂木を現す。
- たるき
・腕木は年代による形状の変遷がある。

※ 切妻造平入



おしらせ

📷 まちなみの古写真を探しています

昭和50年代までの美保関のまちなみの写真を集めています。
写真は今後、まちなみを保存するための貴重な資料になります。
お持ちの方がいらっしゃいましたら、文化財課までご連絡ください。
写真は複写した後に返却します。

分からないこと、不安なことなどお気軽に
お問い合わせください。

■ 問い合わせ先

〒690-8540 島根県松江市末次町86番地
松江市文化スポーツ部 文化財課
歴史まちづくり係 電話 (0852) 55-5956